

# 患者総合支援センター たより

発行部署：患者支援課  
発行責任者：患者支援課長  
連絡先：06-6645-2857

〔特集〕主な疾患一覧は裏面をご覧ください。

## MRリニアックの対象疾患について



contents

MRリニアック対象疾患

診療科 TOPICS

骨・内分泌内科

腎臓内科

### 「**定位放射線治療**」と「**強度変調放射線治療（IMRT）**」

#### 定位放射線治療

比較的早期の限局した小腫瘍に適しています。

ミリの精度で腫瘍を狙い撃ちし、短い期間で大きい線量の放射線を照射する治療法です。

#### 強度変調放射線治療

より進行した大きめの腫瘍や複雑な形状で正常臓器とひろく接するような場合に適しています。

部位によって線量の強弱を自在につくることのできる技術です。

# MRリニアックの対象疾患

当装置では様々な種類のがんを治療することができますが、限局して高線量の照射が必要な場合、**リスク臓器（副作用の出やすい臓器や機能面で重要な臓器）がすぐ近くにあるような場合**に、従来の装置よりも高いメリットが期待できます。

特に、**定位放射線治療や強度変調放射線治療（IMRT）など、高精度放射線治療と呼ばれる治療法で高い機能を発揮しますので、その保険適用疾患が主な対象となります。**

## 「**定位放射線治療**」が保険適用となる主な**7**疾患

### 膵癌・前立腺癌



**転移病巣のない限局性腫瘍**

### 肺癌・肝癌・腎癌



直径**5cm**以内かつ**転移のない**原発性腫瘍

or

**3**個以内で**他病巣のない**肺転移、肝転移

### 脊椎腫瘍



直径**5cm**以下の**転移性腫瘍**

### オリゴ転移



**5**個以内のオリゴ（少数）転移

## 「**強度変調放射線治療（IMRT）**」が保険適用となる疾患

### 限局する**固型悪性腫瘍**



※ 所属リンパ節以外の転移病巣のある場合には適用されません。

※ 患者さんごとの病巣の位置や進展範囲をみて、通常のリニアックにおいても同等の効果が得られると判断できる場合には、他のリニアック装置での治療をお勧めさせていただきます。